

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2009

夏

6月1日発行(季刊)

文化通心



瀬戸の島々でお茶しましょう。

あ・うんの数寄大茶会もいよいよ5年目。本年度は11月8日開催です。
今年は島に行きましょう。高速艇を使えば小豆島まで30分。思いのほか近いのです。今年は海の大茶会。「ぐる〜り瀬戸内さ〜どうぞ!」と島の散歩に行きましょう。驚きの茶席が待ってます。

お茶・茶粥・茶飯・茶漬けの話

ただいま準備中です。

6月から8月までの茶華道・イベント情報を掲載

平成21年度 助成金交付団体決定のお知らせ

62

発行・財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

お茶・茶粥・茶飯・茶漬けの話

『さぬき瀬戸の茶がいさん・茶粥の研究』と言つ本が出来た。かつて高知県の大豊町で生産された碁石茶は、そのほとんどが実は瀬戸の島々で消費されていたそうです。そうした歴史を背景に茶粥文化の研究と島おこしの活動についての詳細な報告を頂きました。

財団法人福武学術文化振興財団 平成十九年度瀬戸内海文化研究・活動支援助成「さぬき瀬戸の茶がいさん普及プロジェクト」刊。

さぬき瀬戸塾講師 竹内守善

薬草の中もお茶は王様である。茶粥や茶飯の風習は後漢の時代にはすであつたらしいが、実際はどのようなものかはわからない。当時のお茶は団茶とか餅茶であり、香川県の塩飽の島々で食されている「碁石茶粥」の茶も固まり茶で団茶や餅茶に非常に近いもので、意外に同じような茶粥や茶飯を二〇〇〇年も前から中国では食べられていたのかもしれない。

播茶（れいちゃ）というものが三国時代（二二〇〜二八〇年）に始まったとされている。飲むお茶というより食べるお茶であり、現在の茶粥や茶飯に多少近いものである。

三国時代、蜀の名将であつた張飛

は厳しい人物で、彼の軍隊は、地域の人々に律儀で、人々から讃えられるほどの信用があつた。彼が率いる大軍が武陵の地で疫病にかかり、戦える状態でなかつた。武陵の老医師が門外不出の処方であつた播茶の作り方を張飛に献上したといわれる。

今でも、武陵の人達は夏バテ、食欲がない時は昼食に播茶を食べたり、播茶を薬として使つたりしている。

奈良や京都、和歌山では、茶粥を中国から日本に伝えたのは空海であるといわれている。空海が遣唐使として唐の都長安を訪れた頃は茶聖陸羽がいた時代であり、長安にもあちこちに茶店があつたようである。この頃もお茶は固形茶で餅茶が使われ

ていた。空海も茶飯や茶粥を存分に楽しんだに違いない。

お茶の産地だつた奈良では、上納したあとに残つたお茶で炊いたお粥が「茶粥」の始まりだともいわれるが、茶粥も茶の文化の一つであり、中国では早くから食されていた食べ物である。

お粥に米を使ったのは、当時、大和国が一反当たりの米高が全国より多かつたという説もある。また、「お水取り」で知られる東大寺二月堂修二会の練行僧の食事にも茶粥が出される。修二会の練行僧は毎年二月二十日から試別火（ころべつか）にこもり、満行まで精進潔斎（しょうじやく）の生活を続けるが、毎





日決まった食事の献立の中に「ごぼ」（茶粥の重湯）や「あげ茶」（茶粥の重湯を取った残り）、「茶飯」などがある。

江戸時代になって、お茶の風習が庶民に広がっていくなか、一六六二年頃、お茶屋が増え、小豆飯に茶をかけた茶漬けが流行している。お茶漬け文化の開花である。以後ひつまぶしや深川飯、宮崎の冷や汁、伊予さつま、讃岐さつまなどぶっかけ飯や丼物の大流行が到来する。

茶粥の文化も江戸時代に北前船で

奈良や和歌山から淡路島、瀬戸内海、日本海の港々に伝わり広まった。現在でも香川の塩飽の島々、山口の柳井や大島、上関、岩国、島根の松江、出雲、富山の朝日、入善、新潟の糸魚川、青森の野辺地などでは、茶粥が郷土料理として残っている。青森の野辺地で使われる茶粥の茶はケツメイ茶（はぶ茶）で、別名、弘法茶とも呼ばれていることも興味深い。

塩飽諸島は江戸時代に北前船の交易の中心的役割を果たしていた。塩飽の茶粥は「茶がいさん」と呼ばれ使われるお茶は、高知県の山間部の大豊町でしか作られていない碁石茶（ごいしちゃ）という特別なものである。

このお茶は、植物性乳酸菌発酵茶で色は黒い。酸味があり、深い渋みの中にまろやかさを感じるのが特徴。製造方法も阿波番茶をさらに発酵させて作るもので、阿波番茶に近いお茶と考えられる。中国雲南省のプーアル茶などの黒茶に似ていて、タイやミャンマーなどにも同じような製法のお茶がある。

塩飽の茶粥は、もともとは島の塩分を含む水で作られた粥だったため、ほかの地域の茶粥で使われているほうじ茶（番茶を焙烙で煎った茶）よりも刺激の強い茶が好まれたのかも知れない。そのためか、佃煮など塩味のある副食を添えれば絶品だといわれる。

瀬戸内の島々はどの島も高齢化と過疎化が急激に進み、塩飽の茶がいさんに使われる碁石茶の需要も激減した。碁石茶の生産者がたった一戸だけになった時代もあり、塩飽の茶がいさんは風前の灯火、絶滅寸前の状態だった。

ここ数年間、さぬき瀬戸塾（塾長・岡市友利元香川大学学長）のメンバーである中西史和氏の茶粥文化の研究や茶粥の試食会は、大勢の関心を呼び、多くの報道が取り上げ話題になった。日本乳酸菌学会などでもこの話題を取り上げている。

お茶の愛好家は碁石茶を幻のお茶と呼び、染織家がい求めたりもして、品切れ続出で価格の高騰にもつながった。中西氏は碁石茶の価格と品質が安定するように、何度も大豊町に赴いている。また、高知市内へも出かけ、碁石茶の茶粥の試食会を度々開催し、PR活動も行った。

現在、生産者は八戸に増えている。現在、碁石茶の茶粥は全国の垂涎的になり、ふるさと香川の自慢の料理に育ちつつある。

茶の生産者たちは生産組合を組織し、一定の品質基準を策定し、認証したものだけを碁石茶として出荷するようにになり、昨年「本場の本物」に認定された。中西氏は、現在も碁石茶の茶がいさんが、島々や県内の割烹やレストランで食べられるように料理人さんらと一緒に茶粥の試食会や勉強会を行い、茶粥や茶飯、茶漬けといったものの簡単で美味しい作り方、食べさせ方についても熱心に研究を進めている。近い将来、お店や家庭で、まろやかで深みのある、美味しい碁石茶の茶粥懐石や茶飯、茶漬けを存分に味わうことができようである。碁石茶でつくった茶粥、茶飯、お茶漬けがふるさと香川の郷土料理として根付くことを願ってやまない。

この冊子のお問い合わせは
メールアドレス chagaisan@me.pikara.ne.jp

財団法人福武学園文化振興財団 平成10年度瀬戸内圏文化研究・活動支援助成
さぬき瀬戸の茶がいさん普及プロジェクト

さぬき瀬戸の茶がいさん

茶粥の研究

さぬき瀬戸塾 中西史和
さぬき瀬戸塾講師 竹内守善

さぬき瀬戸の茶がいさん普及会

この冊子のお問い合わせは
メールアドレス chagaisan@me.pikara.ne.jp

ただいま準備中です。



11月8日。今年五年目となる「あ・うんの数寄大茶会」はいよいよ海に出たいと思います。

茶の湯のいろいろな楽しみを気軽に体験して頂きたいとスタートした大茶会。

毎年楽しみにして下さるお客様も増えて、準備にも力が入ります。

このところ仕事の合間を縫って島に通っています。大茶会のロケハン。桜のきれいな女木島でコノシロの唐揚げを頂きながら一献。小豆島ではオリブ百年祭のフィナーレを飾ってのミニ大茶会に参加。観光客の多さにビックリしながら、波のきらめく直島の散策など、改めて瀬戸内の海の美しさを実感するこの頃です。

春はまだのんびりでしたが、そろそろ企画もまとめの段階。具体的に茶席を決めて行かないといけません。今回舞台となるのは、サンポートを中心とした高松港周辺と女木島、大島、直島、小豆島です。高松と島をつなぐということでこれまでとはかなり勝手が違う構想です。遅くとも6月いっぱいまで詰めの作業をして行かなければなりません。が、より充実した茶席となりますよ

う多くの方のご縁とご協力を頂けたらと思っっています。

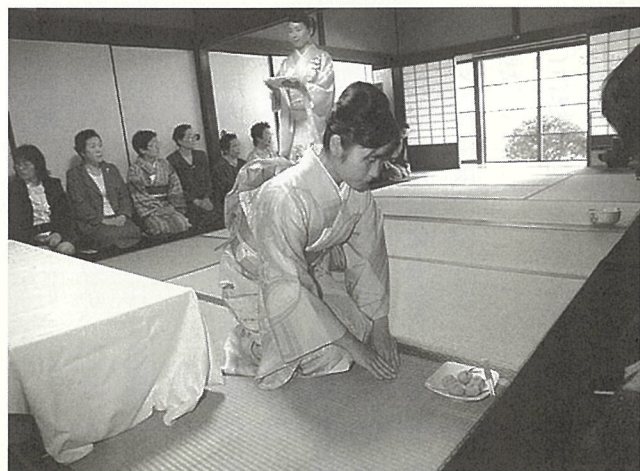
「ぐるり高松さどうぞ！」ということでいろいろな場所で茶席をさせて頂きました。それぞれの場所が歴史の中で役割を果たし、現代にも繋がっていることを知りました。今県内のあちこちではやりの「まちかど漫遊帖」も地域の歴史などを細かく紹介するイベントとして脚光を浴びています。自分たちの国や地域について、ちゃんと知りたいとのニーズがあるのではないかと思えます。

大茶会の目的は、茶の湯の楽しみを、普段馴染みのない方にも知って頂きたいという他に、茶席をきっかけに地域の歴史や役割を知って自信を取り戻して欲しいとか、引いてはうどんなだけじゃなく県外に広く発信出来るようなパ

ワーとなって欲しいと言う願いもあります。

昨年の女木島で茶席では、小学校の遠足や海水浴以来何十年ぶりに島に渡ったと言うお話をたくさん頂きました。その後、また別のお友達と島に行つて来たとかの話も数多く聞き、意外な反響に驚いたものです。赤いフェリーでわずか十五分の旅で、別世界に入る感じは茶席にも通じます。

瀬戸内の海は日本が成立する過程に於いて重要な歴史街道です。江戸時代に朝鮮の通信使が都に至る航路を確保するために讃岐松平藩が画策して直島を我がものにしたなど面白い話に事欠きません。現代はアートの島として、世界中から観光客が集まる島です。来年度はここを中心に「瀬戸内国際芸術祭」も予定されています。今回も茶席の場をご提供頂くなど、アートとお茶のコ



財団行事予定

(六月～八月)

六月

◆和菓子講座 高橋初乃先生

六月五日(金)午前十時～十二時

季節の和菓子を二三点作ります。

◆月に二度の喫茶室 毎月第三火曜日

六月十六日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆茶の湯もやま話 伏見章先生

六月二十三日(火)午後三時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子・古市千秋先生

六月六日(土)・二十七日(土) 午後時～

(今月のみ第二・第四土曜日)

七月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

七月七日(火)午前十一時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

名物に美味しいもの...

各地にいろいろ名物がありますが、珍しいものほど個性が強いもの。名古屋の「ういろう」、長野の「おやき」。お土産にいただくのはありがたいけど、持て余すのは我が家だけじゃないはず。

子供が修学旅行で買ってきた沖縄の「ちんすこう」も失礼ながら食べ切れません。そんな「ちんすこう」に人気商品が...。ということで買ってきたのが「雪塩ちんすこう」。

ミネラル含有量世界一の宮古島の自然塩「雪塩」の塩味が、ちんすこうの甘味を引き立て、あっさりとした上品な味わいになっています。さくさくの食感と優しい甘さがたまりません。

これが売り文句ですが、味わってみると確かに今までの「ちんすこう」とは違う味わいが。

でも、銘菓と名産物のコラボレーションは「うどんといりこだし」の組み合わせがやっぱり最強かな。



くにもの (2) 「城が見えます波の上」



後世に「讃州讃岐の高松さまは城が見えます波の上」とうたわれる玉藻城から参勤交代に出発するお殿様は、水手御門から漕ぎ出した小舟で沖に停泊する飛龍丸まで行き、そこから江戸を目指した船旅を始めたといえます。

海岸線を埋め立てた現在の地形からは想像のつきかねるものになりましたが、建築家の後藤重美さんの事務所にて、江戸時代はかくあらんと思われる光景の紙版画(井上員男)の絵が掛かっていました。樹脂加工した紙をエッチング手法で墨色に摺りあげた画面は、石垣にそびえる天守閣や櫓、葵の万幕を潮風にはためかせた御座船を配して、殿のお出ましを待つ様子。やがて、武器を飾りたてた勇壮豪華な海の大行列が「おたち〜い」と波をけたてて出発します。

墨は五彩にまざるとか、京文化に馴染んだ松平家のみやびな色彩が匂い立つような一幅の絵でした。

ラボも楽しみです。また、役場の周辺の本村地区も現在交渉中です。

さて小豆島は最も大きな島です。人口も三万人以上。高速艇でわずか三十分。古くからのお寺も多く、今回も重森三玲が作った庭と茶室「龍門庵」を持つ栄光寺さんや清見寺さん。地元でお煎茶の先生をされている真光寺さん。また先頃、屋根の葺き替えを終えた肥土山農村歌舞伎の舞台と近くの多聞寺さんなども地元の皆さんと企画交渉中です。普段の観光では訪れるチャンスのない隠れた名所ばかりですのでこの機会をお見逃しなくご参加下さい。

いずれもエリアごとに点心席とお茶席が近くに二、三席あるといったセットになるよう企画しています。今回、高松側で五カ所。四つの島の大きなエリアが六カ所。高速艇と専用バスで各エリアを結び、出来るだけ効率よく回るようにしたいと考えております。

また大島は、島をめぐる大茶会の構想を大西市長にご報告した時に、特にご要望のあった場所ので、この機会に島の人たちとの交流が茶の湯を通して実現出来ればと考えております。茶の湯はただお茶を飲むと言う以上にお話をする機会でもあります。この機会にそれぞれの島について好奇心を持って頂けたらいいなと考えております。

今回はとりあえず中間報告です。詳しい内容は次号でまとめてご案内いたしますが、日時は十一月八日、日曜日です。知っているようで知らない島をぜひお茶と共にワクワクしながら巡って観て下さい。

七月十日(金)午前十時〜十二時

◆ 月に二度の喫茶室 毎月第三火曜日

七月二十二日(火)午前十時〜午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ 茶の湯よもやま話 伏見章先生

七月二十八日(火)午後二時三十分〜

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子・古市千秋先生

七月十二日(土)二十五日(土) 午後時〜

八月

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

八月七日(金)午前十時〜十二時

◆ 月に二度の喫茶室 毎月第三火曜日

八月はお休みさせていただきます。

◆ 茶の湯よもやま話 伏見章先生

八月二十五日(火)午後三時三十分〜

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子・古市千秋先生

八月八日(土)二十二日(土) 午後時〜

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要ですが、お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)
高松市番町二丁目一十二
☎(087) 8220・3315

茶 華 道 ガ イ ド

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)851-5330

6/13 市民文化祭アーツフェスタ2009
席主:江戸千家 披雲閣 500円
9:00~16:00

8/2 栗林公園蓮見茶会
席主:江戸千家 掬月亭 1,200円
6:30~13:30

畷小原流高松支部 ☎(087)833-9274

8/23 夏休みいけばな体験講座「ハバと一緒に
花を活けよう!」席主:小原流高松支部
高松市総合福祉会館6F 700円
13:00~14:30

表千家同門会香川県支部 ☎(0875)83-3785

7/5 表千家流西讃茶会 席主:観音寺表寿会
琴弾公園コミュニティーセンター 500円
9:30~15:00

7/12 表千家流東讃四季茶会 席主:坪井宗洋
中條文化振興財団 500円
9:00~15:00

茶華道一茶流久松会 ☎(087)885-2322

6/13 高松市茶華道協会茶会といけばな展
いけばな体験教室(要予約) 担当:一茶流久松会
玉藻公園披雲閣杉の間 無料
11:00~12:00

畷三笑亭貢茶流高松仙友会 ☎(087)833-0347

6/1 華道一生本流 いけばな展 茶席
席主:松岡愛子 高松天満屋 500円
10:00~16:00

6/28 三笑亭貢茶流高松仙友会茶会
席主:大林清子(第一席)・長嶋恵子(第二席)
玉藻公園内披雲閣 1,100円
9:00~15:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

6/21 松尾寺 月釜 席主:上杉宗邦
松尾寺 500円 9:00~15:00
7/8 休会

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

6/14 花菖蒲茶会 席主:坂出分会A班
川津菖蒲園 300円 10:00~15:00

6/15 弘法大師誕生会 席主:善通寺教授者
善通寺 500円 9:00~14:00

6/21 琴平松尾寺月釜 席主:上杉宗邦
松尾寺 500円 9:00~15:00

6/28 坂出分会月釜 席主:口入田宗美
翠松閣 500円 10:00~14:00

7/5 観音寺分会月釜 席主:秋山宗君
働く婦人の家 500円 12:30~15:30

7/5 善琴分会月釜 席主:北山宗博
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)834-8433

6/7 月釜 席主:山本宗佳 天神会館
前売500円・当日600円 9:00~16:00

6/14 栗林公園月釜 席主:田中宗聖
掬月亭 710円(入園料別) 9:00~16:00

7/5 月釜 席主:坂東宗代 天神会館
前売500円・当日600円 9:00~16:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)889-1973

6/14 高松市市民文化祭第36回茶会といけばな展
席主:中山節玉 玉藻公園披雲閣(横の間) 500円
9:00~16:00

高松市茶華道協会事務局 ☎(087)881-7383

6/13~14 第36回「茶会といけばな展」
席主:高松市茶華道協会14流派
玉藻公園披雲閣 茶席500円・華展300円
9:00~16:00

13日茶席 江戸千家不白会香川支部
席主:臼杵宗和 横の間
14日茶席 茶道石州流琴松会
席主:中山節玉 横の間

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

7/5 香川官休会 月釜 席主:佐々木博子
無量寿院 500円 9:00~15:00

ジョージ・ナカシマ記念館 ☎(087)870-1020

7/5 ジョージ・ナカシマ記念館茶会
席主:高島茂(武者小路千家)・高橋宗明(裏千家)
立礼席二席1,500円(予約のみ・入場料含)
10:00~16:30

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

6/14 「由佐城月釜茶会」席主:川原宗津(裏千家)
第2研修室 前売300円・当日400円
10:00~15:00

7/12 「由佐城月釜茶会」席主:大西宗久(裏千家)
第2研修室 前売300円・当日400円

上記予定は変更する場合があります。

イ ベ ン ト ガ イ ド

とらまるパベットランド ☎(0879)25-0055

8/18~23 「ぬればやまのちいさなにんじや」「トリスもん」
人形芝居くりちゃん 13:30~●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

6/14 坂出ウッドプラスアンサンブルコンサート2009
ホール 14:00~●

6/21 芝口佳徳カラオケ発表会
ホール 10:00~●

6/28 第51回坂出地区交歓吟剣詩舞道大会
ホール 10:00~●

8/1 第44回さかいで大橋まつり(パレード)
16:00~●

8/23 藤間勘武 夏のおどり
ホール 13:00~●

8/30 若葉寿栄吟詠剣詩舞道大会
ホール 10:00~●

かまどホール ☎(0877)46-2178

5/15~6/14 富田焼 紀太理光 茶陶展 10:00~●
6/20~7/20 (題名未定)彫刻家 速水史郎先生展覧会
10:00~●

7/25~8/30 (題名未定)七宝作家の古川先生と
漆芸家の門田先生の展覧会 10:00~●

ユースラザータブ ☎(0877)49-8020

7/18 高校演劇講習会 演れば舞台!高校演劇2009
ハーモニーホール 13:00~●

7/28,29 平成21年度ハーモニーホール
ピアノリレーコンサート 9:00~●

中津万象園・丸亀美術館 ☎(0877)23-6326

4/25~6/21 磯崎新版画展 宮脇愛子展 9:30~●
7/26 こども写生大会 9:30~
参加者および同伴の保護者1名無料

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

6/28 森山直太郎コンサートツアー-2009
17:30~●

7/4 七タカラオケコンサート 12:00~■
8/30 宝くじふるさとワクワク劇場inたどつ 14:00~●

丸亀市教育委員会教育部文化課 ☎(0877)24-8822

8/23 詩のボクシング香川大会in丸亀
丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)
15:30~●

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

8/8 伝統芸能保存事業(雨天時9日に順延)
丸亀市民ひろば 時間未定■

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

4/11~6/28 色彩の詩人—脇田和 10:00~●
4/11~7/5,7/12~10/18 猪熊弦一郎展 10:00~●
7/12~10/12 Double Fantasy 韓国現代美術展
10:00~●

丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

7/11 あやうたサマーコンサート
大ホール 19:00~★

7/25 IZANA!ミュージカル「cosmic Love Regina」
大ホール 19:00~●

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

<大ホール>
6/14 渡辺美里コンサートツアー-2009
17:00~●

7/7~9 高校生鑑賞教室「ミュージカル龍馬」
7日14:00~、8日10:30~、14:00~
9日9:30~、13:00~ ●

7/25,26 スタインウェイピアノリレーコンサート
9:00~●

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

7/25~9/6 ちょっとかわった昔の道具大集合展
第1展示室 9:30~■

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

6/4~16 浅原千代治グループ 吹きガラス展
11:00~■

6/18~28 茶道具展 11:00~■

7/2~14 暮らしの中の骨董展~知的好奇心を
くすぐる品々~(検討) 11:00~●

7/18~8/1 塩崎淳子展 11:00~■

ぎやらりい風 ☎(0877)86-2112

5/19~6/7 三村昌哲セレクション展
ドライポイント作品(凹版) 10:00~■

6/20~26 書家 大西眸展 涼を探る 10:00~■

7/3~5 吉本安雄 山草展 10:00~■

7/7~13 稲田雅照作陶展(信楽)
陶器100点 10:00~■

7/15~26 「ひこむ」写真展 好井博 10:00~■

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

6/5~9 書と日本画三人展 9:00~■

6/12~16 勝賀瀬寛作陶展 9:00~■

6/19~23 日本画・水彩画二人展 9:00~■

6/26~30 土佐和紙のかたち 9:00~■

7/3~7 三好厚男作陶展 9:00~■

7/10~14 ガラス日和 9:00~■

7/17~21 塩田誠一郎展 9:00~■

7/24~28 牛尾光子日本画展 9:00~■

7/31~8/4 游友展 9:00~■

8/7~11 図工同好会グループ展 9:00~■

8/14~18 長尾武美術彫展 9:00~■

8/21~25 「いいお顔」写真展 9:00~■

8/28~9/1 妖精たちとのおくりもの展 9:00~■

イベントガイド

アルファあなぶきホール ☎(087)823-3131

- <小ホール>
7/14 松竹新派名作劇場「女の一生」
出演：波乃久里子、風間杜夫、中山仁、
司葉子他 14:00～●
- <大ホール>
7/25 N.Y. meets Takamatsu2
～ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルと香川のオペラ歌手たち～
指揮：高原守
演奏：ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル
語り：三遊亭楽生 出演：四国二期会
13:00～●
- 8/12 ドラムストラック～参加型ドラム・エンターテイメント～ 19:00～●
- 8/30 KJO第8回定期演奏会 指揮：平井秀明
演奏：かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ
ソリスト：福留史紘（ヴァイオリン） 14:00～●

香川県立ミュージアム ☎(087)822-0002

- 6/3～7/20 特別展 第74回香川県美術展覧会
9:00～●
- 6/14 講演会「巡礼への遠近法」 13:30～●
- 6/21 子ども歴史教室「商店街たんけんたい集まれ」
13:00～●
- 6/27 食文化体験講座「半夏に食べる手うちうどん」
10:00～●
- 7/9～10/4 企画展 珠玉の古美術収蔵品展
9:00～●
- 7/14 学芸講座 第1回「史跡編 讃岐の山城を歩く」
13:30～●
- 7/18 歴史工作教室「讃岐のり染づくり」
13:00～●
- 7/18～8/31 特別展 夏休み子どもミュージアム
わくわく！どうぶつえん 9:00～●
- 7/20、8/8 子ども歴史教室「こだい人のペンダント
勾玉を作ろう！」 ①午前②午後●
- 7/21、8/24 子ども歴史教室「ミュージアムたんけんたい」
13:30～●
- 7/25 子ども美術工房「どうぶつ使いになろう」
14:00～●
- 7/25～9/6 企画展 美術コレクション展Ⅱ「これって絵なの？」
ピカノな気分であつげたいビジュアル 9:00～●
- 8/9 食文化体験講座「戦時下の料理」 10:00～●
- 8/22 学芸講座 第2回「絵画鑑賞の基礎知識」
13:30～●
- 8/22、23 歴史工作教室「親子木工教室」 13:00～●

高松市美術館 ☎(087)823-1711

- 6/25～28 一栄会 一般展示室 9:30～料金未定
<一般展示室・企画展示室>
- 7/24～9/6 大岩オスカル 夢みる世界展 9:30～●
- 6/5～7 市民美術の祭典2009 9:30～●
- 6/7～14 墨華書道会展 9:30～●
- 6/16～21 創元展 9:30～料金未定
<常設展示室>
- 6/5～8/16 第1期常設展 9:30～●
- 8/22～10/18 第2期常設展 9:30～●
- <市民ギャラリー>
- 6/2～7 油彩美学展 9:30～●
- 6/9～14 第6回大吉ファミリー展 9:30～●
- 6/16～21 第31回チャールズ会高松展 9:30～●
- 6/23～28 第21回美術教室DODO作品展 9:30～●
- 6/30～7/5 Rの会 絵画同好会 9:30～●
- 7/7～12 水彩美学作品展 9:30～●
- 7/14～20 第七回グループ彩展 9:30～●
- 7/22～26 書作個展 9:30～●
- 7/28～8/2 土曜の会展 9:30～●

高松市中央図書館 ☎(087)861-4501

- <サンクリスタル高松(中央図書館)3階視聴覚ホール>
- 6/5 「読み聞かせボランティアのための講座—“おはなしおぼん(藤田浩子さん)”の読み聞かせ講座—」
内容：乳幼児向けのおはなし会などについての講座
14:00～●
- 7/4 サンクリスタルコンサート
「親子で歌いつごう日本の歌百選 vol.3」
18:00～●
- <香川図書館4階集会室>
- 6/20 「香川図書館にとらまる人形劇がやってくる！」

内容：人形劇「風の神のいたずら」の上演
13:30～●

香川大学博物館 ☎(087)832-1300

- 6/13 ミュージアム・レクチャー「フィールドワークで地球を探る」
講師：寺林優(香川大学工学部准教授・博物館副館長)
10:30～●
- 7/11 ミュージアム・レクチャー「イルカのからだは海のゴミ」
講師：寺山弘樹(日本ドルフィンセンター長)
10:30～●
- 7/23～8/29 企画展「瀬戸内海の家・干潟・海岸の生き物」(仮題)
10:00～●

高松テルサ ☎(087)844-3511

- 6/13 弦楽の集い(日協協香川県支部) 13:10～●
- 6/14 香川大学医学部管弦楽団 時間未定
- 7/3～5 ピティナピアノコンペティション高松地区予選 時間未定
- 7/28～31 ジュニア音楽コンクール 時間未定
- 8/1、2 カワイ音楽発表会 時間未定
- 8/21～23 ジュニア音楽コンクール 時間未定

玉藻公園 ☎(087)851-1521

- 6/7 第25回英公様追悼游泳祭 内濠
<披雲閣>
- 6/6、7/4、8/1 菊作り講習会
- 6/12～14 高松市民文化祭アーツフェスタたかまつ2009
- 6/28 三笑亭實茶流高松仙友会茶会

ミューズホール ☎(087)833-0013・0014

- 6/14 akeu hula 第10回発表会 13:30～●
- 6/27～28 ヤマハジュニアエレクトーンフェスティバル
&エレクトーンステージソノロ2009
27日14:00～、28日9:30～、12:00～、16:00～●
- 7/19 みんな集まれ!キッズランドフェスティバル
10:00～●
- 8/15 高松西高コーラス部OB会 第27回夏の演奏会
17:30～●

高松市教育委員会文化財課 ☎(087)839-2660

- 6/7 第25回英公様追悼游泳祭 玉藻公園内濠
10:00～●
- <ふるさと探訪>
- 6/28 「猪熊美術館と塩屋地区を訪ねる」
猪熊弦一郎現代美術館、浄土真宗塩屋別院、正宗寺権掘井戸など 9:30～●
- 8/2 「池戸七夕飾りと古社寺をめぐる」
西徳寺、安養寺、池戸城跡、旧郡役所など 9:30～●

(財)高松市文化芸術財団(サンポートホール高松) ☎(087)825-5010

- <サンポートホール高松開館5周年記念事業>
- 7/21 「万作の会」狂言師による狂言ワークショップ
からだのヴォキャブラリーシリーズvol.1
「からだの か・た・ち～様式の探検～」
大ホール 14:00～●
- 7/21 申込期間6/22～29 ベア10組(20名)
野村万作・萬斎 サンポート狂言会
大ホール 19:00～●
- 8/20～22 演劇ルネサンス工房 夏休み親子のための
マリネットづくりワークショップvol.2
第1リハーサル室 午前の部9:30～
午後の部14:00～(別途材料費要)●
- 申込期間7/13～24 定員各都20名

(有)かをり園 ☎(087)821-5957

- 6/17～21 十四代紀太理平 14周年新作展
漆釜席(点出し)ごさいます
御坊町福善寺 10:00～●

ギャラリーen ☎(087)851-3711

- 6/17～30 荒川尚也 ガラス展 10:00～●

ジョージ・ナカシマ記念館 ☎(087)870-1020

- 7/5 ジョージ・ナカシマ記念館茶会
席主：高富茂(武者小路千家)・高橋宗明(裏千家)
立礼席二席1,500円(予約のみ・入場料含)
10:00～16:30

ユンデンスラサ高松 ☎(087)851-3863

- 6/2～7 「洋画展」オリブの会 10:00～●
- 6/16～21 「水彩画展」水彩画グループあすなろ
10:00～●

- 6/23～28 「竹細工」バンジョイ塾 10:00～●
- 6/30～7/5 「レカンフラワーと押花展」押し花サロン葵
10:00～●
- 7/14～19 「香川町水彩画クラブ作品展」
香川町水彩画クラブ 10:00～●
- 7/21～26 「第15回研陶酔会作品展」研陶酔会
10:00～●
- 7/28～8/2 「シャドーボックス(立体絵画)展」
手作り工房M2クラブ 10:00～●
- 8/4～9 「第1回ポピーロス画法展覧会」
高松NHK文化センターポピーロス画法教室
10:00～●
- 8/18～23 「Create・コラボアート」NPOクリエイト倶楽部
10:00～●
- 8/25～30 「NHK文化センター受講者作品展水墨画・墨彩画」
10:00～●

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

- 6/6～7 「第13回土遊会 陶芸展」手びねりの陶芸作品展
2Fギャラリー 9:00～●
- 6/13～7/12 「第4回 わが家のお宝展」
わが家のお宝をエピソードと共に紹介
2Fギャラリー・歴史展示室 9:00～●
- 6/14 「由佐城月釜茶会」席主：川原宗津(裏千家)
第2研修室 前売300円・当日400円
10:00～15:00
- 7/12 「由佐城月釜茶会」席主：大西宗久(裏千家)
第2研修室 前売300円・当日400円
10:00～15:00

高松市塩江美術館 ☎(087)893-1800

- 6/2～21 第15回ほたるの里しおのえ
フォトコンテスト作品展 9:00～●
- 7/7～26 塩江アートプロジェクト 四宮龍展 9:00～●
- 7/28～8/30 国際子ども秀作絵画展 9:00～●
- 8/1 美術館の日 入館無料
- 8/1、2 風鈴づくり教室(事前申込必要) 9:00～●
- 6/13 第28回しおのえホテルまつり
塩江町自然休養村センター前広場
14:00～
- 8/29 しおのえ温泉まつり ホテルと文化の里公園

高松市石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

- <特別展示室>
- 6/5～14 水無月展(前期) 9:00～●
- 6/19～28 水無月展(後期) 9:00～●
- 7/3～12 文月展 9:00～●
- 7/18～8/30 (仮称)恐竜フィギュア展 9:00～●

ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

- 5/1～6/30 石の彫刻展2009 9:00～●

手造りの蔵鈴丸 ☎(087)898-7307

- 7/15～8/3 原田史郎 藍染展 香川県ではない
ぐらゐの作品が展示されます。木材に
染めた作品も有り。人数は未定ですが
藍染体験開催の予定。 9:30～●

さぬき市教育委員会生涯学習課 ☎(0879)42-3107

- 6/21 第5回さぬき市民音楽祭
さぬき市志度音楽ホール 10:00～●
- 8/4～16 第7回さぬき市民県展入選等作品展
さぬき市文化資料展示館 9:00～●

とらまるバベットランド ☎(0879)25-0055

- 6/3～5、8/25～30 「風の神のいたずら」
とらまる人形劇団 6/3～5日10:30～、
8/25～30日13:30～●
- 6/6～7、13～14 「だるまちゃんどてんぐちゃん」
「こぶとり」 人形芝居くりちゃん
13:30～●
- 6/20～21、27～28 「天にのぼったいさん」[犬くんのたび]
バベットシアターせんくらぶ 13:30～●
- 7/4～5、11～12、18～20、8/4～9 新作予定
とらまる人形劇団 13:30～●
- 7/25～26 夏休み人形劇祭
県内のアマチュアサークルが大集合 13:30～●
- 8/1～2 乳幼児向け特別公演「おおかみと七匹の子ヤギ」
人形劇団パン 13:30～●
- 8/11～16 「のそをよるによる」[せりふのない人形劇短編集]
ばびぶべ劇場 13:30～●

平成二十一年度助成金交付団体決定のお知らせ

第16回中條文化振興財団助成金の交付団体が決定いたしましたので、ご報告いたします。
 「文化団体を設立後5年未満の団体」、「既存の文化団体で新しい方向付けを目指そう」としている団体、「未分野の開拓に努力しよう」としている団体「のいずれかに該当すれば誰でも応募でき、企画の内容、今後の展開など、プレゼンテーションして決定されます。長年の経験・知名度など関係なく、しっかりした企画があれば、選ばれる可能性があります。」
 今回は、6団体より申請があり、審議を重ねた結果、次の3団体に決定致しました。

「助成金交付団体のプロフィール」

① 香川県高等学校演劇協議会

代表 平 岡 三千雄
 香川県下高校演劇部約10校による舞台作品公演ならびにワークショップの企画。

香川県における演劇活動がここ数年停滯傾向にあり、若者の舞台離れ、作品の質の格差に対して何らかの対策をと企画されました。演劇活動を行う高校に対して、専門家や先進校が講習、情報提供を行うことにより、作品レベルの向上を図り、そこで得た知識や技術をもとに創作活動を行い、上演を行うという実践的な取り組みをねらいとしています。

ワークショップの成果を上演会場にて見られることを楽しみにしています。
 日時 平成二十二年四月～九月講習
 十月二十日(土)・二十一日(日)上演
 上演会場 綾歌総合文化会館アイレックス
 料金 入場無料

② 御坊町寄席世話人会

代表 氏 部 貴 弘
 落語を香川に根づかせたいと、二〇〇二年十月から高松市内で始め、二〇〇四年六月

には会場を御坊町に移し寄席を続けています。毎回、大阪から噺家・寄席三味線を呼んで、落語を三席、生の三味線を入れて披露し、大阪の寄席と同じものを楽しんで頂きたいと企画されています。

多くの方に(隔月、偶数月第二水曜日)足を運んでいただき、落語の魅力が香川の芸術文化の中で新しい広がりを持つことを期待いたします。

日時 六月二十日 水曜日19時より
 場所 真宗大谷派東本願寺四国教務所
 (高松市御坊町1-15)

③ 高松市香川町文化財保存会

代表 中 原 耕 男
 香川県の中心を流れる2級河川である「香東川」とその周辺流域の人々の暮らし、自然の景観、水系などを解説する図書の刊行事業。

身近にありすぎて、見逃されている「香東川」と、その流域で育まれた様々な文化を紹介し、訪れる人たちの案内書となるような内容にと編集されています。

この冊子によって、身近な地域の文化や習慣を見直し、史跡や伝統の保存・継承への意識につながることを期待します。

タイトル (仮)香東川と私たちの暮らし
 1 香川町の民俗シリーズNO.10
 1 阿讃のやまなみから瀬戸の海まで
 発行日 平成二十二年二月末日(予定)

来年度の応募は、年度を通して受付しております。応募期限は、平成二十二年一月末日です。応募の書式は、財団ホームページよりダウンロードしていただくか、事務局までお問合せください。

高松市市民文化祭

アーツフェスタたかまつ2009

ヤングヤング子供大茶会

いろいろな流派で茶道を学ぶ50人の子供たちが益点前でご接待。子供限定のお菓子作り体験もあります。

会場 サンポートホール高松1階
 市民ギャラリー及び
 コミュニケーションプラザ
 日時 6月7日(日)午前10時から
 席料 五百円(ご希望でお菓子作り体験できます)
 主催 高松市、主管 同実行委員会。

● 財団の講座のお知らせ

ヤングヤング子供茶の湯講座

小学校1年生から始められます。
 講師 山下純子・古市千秋先生
 日時 第1・3土曜日午後1時より随時
 場所 茶室 晴松亭
 月謝 三千元

編集後記

「美しい瀬戸の都・高松」を揚げ、海辺のにぎわいを願って計画されたサンポート。シンボルタワーや低層棟が完成し、今年で五年となります。読者の皆様方には数多くの催し物を行なわれたり、参加されたことでしょうか。当財団も大茶会等できわいづくりに協力させていただきました。ありがとうございます。

多目的広場も整備され、本当にたくさんさんのイベントが催されています。

これからも、大・小ホールはもちろん、コミュニティプラザ・デックスガレリア等のオープンスペース等の利用も考えつつ、いろいろな催し物を創り出していかうではありませんか。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
 (財)中條文化振興財団編集部
 TEL (087) 8266・3355
 FAX (087) 8266・2212
 info@chujo-zaidan.or.jp